

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-255688

(43)公開日 平成5年(1993)10月5日

(51)Int.Cl. <sup>5</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
C 1 1 B 9/00	A	2115-4H		
A 6 1 K 7/00	K	9165-4C		
	W	9165-4C		
7/46	3 0 1	9051-4C		
C 1 1 B 9/02		2115-4H		

審査請求 未請求 請求項の数1(全 5 頁)

(21)出願番号 特願平4-89811

(22)出願日 平成4年(1992)3月13日

(71)出願人 000000952

鐘紡株式会社

東京都墨田区墨田五丁目17番4号

(72)発明者 沢田 和彦

神奈川県小田原市寿町5丁目3番28号 鐘  
紡株式会社化粧品研究所内

(54)【発明の名称】 鎮静用精油を含む香粧品

(57)【要約】

【目的】 鎮静効果とその効果の持続性に優れた、鎮静用精油含む香粧品を提供すること。

【構成】 セダーウッド油より高沸点成分を除いた、ガスクロマトグラフィーのクロマトグラムにおいて、リテンションタイムが0分から50分以内の鎮静用精油〔カラム：ジェーアンドダブル社 DB-WAX（内径0.25mm×長さ60m）、キャリアガス：ヘリウム、キャリアガス流量：1ml/分、カラム温度：摂氏70度～200度、カラム昇温速度：摂氏2度/分、検出器：水素イオン化検出器（F. I. D.）〕を含有してなる香粧品。

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 セダーウッド油より高沸点成分を除いた、下記の性質を有する鎮静用精油を含有することを特徴とする香粧品。

記

下記的气相色谱グラフィーのクロマトグラムにおいて、リテンションタイムが0分から50分以内であること。

機種：ヒューレットパッカード社 5890A

カラム：ジェーアンドダブル社 DB-WAX（内径0.25mm×長さ60m）

キャリアガス：ヘリウム

キャリアガス流量：1ml/分

カラム温度：摂氏70度～200度

カラム昇温速度：摂氏2度/分

検出器：水素イオン化検出器（F. I. D.）

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、セダーウッド油より後記特定の性質を有する、高沸点成分を除いた鎮静効果及びその効果の持続性に優れた鎮静用精油を含む香粧品に関する。

【0002】

【従来の技術および発明が解決しようとする課題】 従来より、香料などの芳香物質の吸入、又は塗布による芳香治療、いわゆる「アロマセラピー」が行われてきている。またその中で気分を穏やかにし、安定した状態にさせる効果、すなわち鎮静効果に関しては、特開平03-28300号公報、特開平03-111493号公報にサンダルウッド油及びラベンダー油から高沸点成分を除いた精油で試みられている。

【0003】 しかしながら、これらの精油は鎮静効果及びその効果の持続性の面において必ずしも満足できるものではなかった。

【0004】 本発明者らは、このような事情に鑑み鋭意検討を重ねた結果、後記特定の鎮静用精油を含有してなる香粧品が優れた鎮静効果を有し、しかもその効果の持続性に優れる事をみだし、本発明を完成した。

【0005】 即ち、本発明の目的は、鎮静効果とその効果の持続性に優れた鎮静用精油を含有してなる香粧品を提供する事にある。

【0006】

【課題を解決するための手段】 上記の目的は、セダーウッド油より高沸点成分を除いた下記の性質を有する鎮静用精油を含有してなる香粧品によって達成される。

【0007】 記

下記的气相色谱グラフィーのクロマトグラムにおいて、リテンションタイムが0分から40分以内であること。

機種：ヒューレットパッカード社 5890A

カラム：ジェーアンドダブル社 DB-WAX（内径0.25mm×長さ60m）

キャリアガス：ヘリウム

キャリアガス流量：1ml/分

カラム温度：摂氏70度～200度

カラム昇温速度：摂氏2度/分

検出器：水素イオン化検出器（F. I. D.）

【0008】 本発明によって使用されるセダーウッド油とは、従来から使用されている公知の天然精油であって、マツ科のヒマラヤスギ属のレバノンセダー（*Cedrus libani* Barr.）、アトラスセダー（*Cedrus atlantica* Manetti）、ヒマラヤスギ（*Cedrus deodara* Loud.）等の幹（心材及び辺材又はそのいずれか）、又は枝や葉を含む幹を石油エーテル、ヘキサンなどの有機溶媒で抽出したセダーウッドオイルをさす。

【0009】 本発明の鎮静用精油は、例えば次のようにして得ることができる。

【0010】 丸型フラスコにセダーウッド油を入れ、減圧蒸留装置を取り付け、0.2～0.3mmHgの範囲で減圧し、オイルバス中で温度を摂氏25度から60度までゆっくりと昇温させ、低沸点成分を採取する。

【0011】 採取した低沸点成分は、下記的气相色谱グラフィーにおけるリテンションタイムが0分から50分以内の物質であるが、本発明においてはその成分全てを用いる必要はなく、例えば0～30分の成分を用いても鎮静効果が得られる。

【0012】 記

下記的气相色谱グラフィーのクロマトグラムにおいて、リテンションタイムが0分から50分以内であること。

機種：ヒューレットパッカード社 5890A

カラム：ジェーアンドダブル社 DB-WAX（内径0.25mm×長さ60m）

キャリアガス：ヘリウム

キャリアガス流量：1ml/分

カラム温度：摂氏70度～200度

カラム昇温速度：摂氏2度/分

検出器：水素イオン化検出器（F. I. D.）

【0013】 セダーウッド油よりセダーウッド油高沸点成分を除いた鎮静用精油は、無色～淡黄色の透明な物質であり、比重が0.88～0.93であり、 $\alpha$ -ピネン、 $\alpha$ -セドレン、 $\beta$ -セドレン、カリオフィレン、ツヨブセン等を主成分とするものである。

【0014】 また他の製造方法としては、吸着剤にシリカゲル、展開溶媒にヘキサンを用いたカラムクロマトグラフィーによって、ヘキサン留出分を濃縮して得る方法もあるが高沸点成分が残留するので前者の方が好ましい。

【0015】 また、上記の精油を含有してなる香粧品の

調整方法は、特に限定されることがなく、一般的な方法で良いが、例えば次のような調合香料組成物として得ることが出来る。

【0016】前述の方法によって得られた鎮静用精油に、必要に応じてサンダルウッド、ベチバー、パチョリ等のウッディノート有する精油や、合成ムスク、合成アンバー及び様々なフローラル調香料と組み合わせるなどして、調和する香料成分を加えて変調し、保留性やこくなどを加えて仕上げをして、トップノート、ボディノート、ラストノートをうまく組み合わせて経時的にも魅力のある香りとして、フゼア、シプレー、オリエンタル、シトラス等の特徴を持った調合香料組成物を組み立てる。

【0017】本発明のセダーウッド油より高沸点成分を除いた鎮静用精油の香粧品への配合量は、製品形態によっても異なるが、製品総量を基準として香水、オーデコロン等のフレグランス製品には0.01~50重量%、スキンローション、スキンクリーム等のスキンケア化粧品には0.001~1.0重量%、ヘアトニック、シャンプー等のヘアケア製品には0.01%~1.0重量%、ルームコロン、ルームスプレー等の室内芳香剤には0.05~30重量%等が好適である。

【0018】また本発明で得られる精油をトリメチルシトレート、トリエチルシトレート、トリブチルシトレート、ジエチルフタレート、ジプロピルフタレート、ジブチルフタレート、フェノキシエタノール、ジプロピレングリコール、ベンジルベンゾエート、ベンジルサリシレート、イソプロピルミリスチレート等の保留剤のうち少なくとも一種と組み合わせて、芳香を持続的に揮散させ、かつ長時間鎮静効果を持続させることができる。

【0019】これらの保留剤のなかでは特にトリメチル\*

\*シトレート、トリエチルシトレート、トリブチルシトレート、フェノキシエタノールが好適であり、効果及びその効果の持続性に優れたを含む香粧品を提供することが出来る。

【0020】また、これらの保留剤の配合量は、香粧品の総量を基準として約0.001~15重量%の範囲が好適である。

【0021】その他、本発明の香粧品には、必要に応じてアルコール類、水、油、界面活性剤、着色剤、防腐剤、酸化防止剤、収れん剤、保湿剤等を加えることができる。

【0022】本発明の香粧品としては、香水、オードトワレ、オーデコロン、室内芳香剤、室内芳香エアゾール、ピローシートなどの芳香製品、石鹸、シャンプー、リンス等のトイレタリー製品、クリーム、ローション等の基礎化粧品、頭髪化粧品、仕上げ化粧品等があげられる。

【0023】

【実施例】以下、実施例及び比較例によって、本発明を詳説するが、本発明は実施例の記載に限定されるものではない。なお、実施例に記載した鎮静効果の官能評価試験を下記の通りに行った。

【0024】(官能評価試験) 試料0.05gを匂い紙(6×150mm)に染み込ませ、10分後、30分後の香りの鎮静効果について評価した。

【0025】なお、ここで言う鎮静効果とは、具体的には香りを与えたことにより気分が落ち着いてくることを指し、表1の鎮静効果判断基準にしたがって16名の被験者によって評価し、その結果を16名の評価点の平均値で示した。

【表1】

鎮静効果判定基準	評価点
とても気分が静まり、落ち着いた。	2
気分が落ち着いた。	1
特に変化は感じなかった。	0
気分が落ち着かなくなった。	-1
気分が落ち着かず、イライラするようになった。	-2

【0026】実施例には、下記製造例によって調製した本発明の鎮静用精油を用いた。

【0027】(製造例) 丸型フラスコにセダーウッド油500gを入れ、減圧蒸留装置を取り付ける。0.2mmHg~0.3mmHgの範囲で減圧し、オイルバス中で温度摂氏25度から60度まで昇温させ、その間毎分約0.5~1mlの留出速度で初留分を採取する。最終的にはセダーウッド油より高沸点成分を取り除いた鎮静用精油が約200g(収率約40%)採取される。

【0028】製造例(実施例1)で得られた精油につい

て下記的气相色谱グラフィーによる測定を行った結果を図1に示す。

【0029】記

機種：ヒューレットパッカード社 5890A

カラム：ジェーアンドダブル社 DB-WAX (内径0.25mm×長さ60m)

キャリアガス：ヘリウム

キャリアガス流量：1ml/分

カラム温度：摂氏70度~200度

カラム昇温速度：摂氏2度/分

検出器：水素イオン化検出器（F．I．D．）

【0030】実施例1、比較例1～2（精油）

実施例1には、前記製造例で調製された、本発明の鎮静用精油を用いた。

【0031】比較例1には前記製造例にて得られるセダーウッド油高沸点成分（蒸留残さ）を用い、比較例2に\*

\*は一般に用いられているセダーウッド油（未蒸留）を用いた。

【0032】これらについて前述の官能評価試験を行った。その結果を表2に示した。

【表2】

	官 能 評 価 試 験		
	10分後	30分後	90分後
実施例1	+0.88	+0.75	+0.55
比較例1	-0.63	-0.69	-0.33
比較例2	+0.19	+0.13	+0.15

（小数点第3位にて四捨五入）

【0033】この結果、セダーウッド油低沸点成分に鎮静効果があり、セダーウッド油高沸点成分（蒸留残さ）は、鎮静効果に甚だ寄与が少ないという事実を見出した。

【0034】

実施例2、3、比較例3、4（オーデコロン）

実施例2、3には、前記製造例で得た本発明の鎮静用精※

※油を用い、また比較例3、4では、一般に用いられている天然精油であるセダーウッド油又は、前記のセダーウッド油高沸点成分（蒸留残さ）を用いて、表3の処方において1～5を6で希釈してオーデコロンを調製し、前

20 記官能評価試験を行った。

【表3】

	実施例2	実施例3	比較例3	比較例4
1. 製造例の鎮静用精油	0.2	0.2		
2. セダーウッド油			0.2	
3. セダーウッド油 高沸点成分（蒸留残さ）				0.2
4. トリメチルシトレート （保留剤）		0.2		
5. シブレー系調合香料	3.8	3.8	3.8	3.8
6. 95%エタノール	96.0	95.8	96.0	96.0

【0035】その評価結果を表4に示した。

★ ★【表4】

	官 能 評 価 試 験		
	10分後	30分後	90分後
実施例2	+0.69	+0.44	+0.25
3	+0.63	+0.56	+0.50
比較例3	+0.38	+0.31	+0.19
4	-0.50	-0.25	-0.38

（小数点第3位にて四捨五入）

【0036】表4からもわかるように、製造例の鎮静用精油を含有してなる実施例2、3のオーデコロンは、官能評価試験において優れた鎮静効果を示した。

【0037】また、製造例の鎮静用精油と保留剤とを組み合わせる実施例3のオーデコロンは、90分後の

官能評価試験において優れた鎮静効果を示し、その持続性にも優れていることがわかった。

【0038】一方、単なるセダーウッド油を含有してなる比較例4のオーデコロンは、鎮静効果がなく、全く良いものではなかった。また、セダーウッド油高沸点成分

を含有してなる比較例3のオーデコロンについても鎮静効果がなく、全く良いものではなかった。

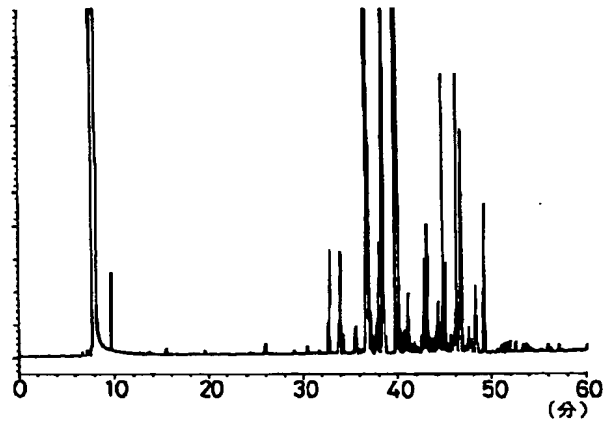
【0039】

【発明の効果】以上の記載のごとく、本発明の鎮静用精油を含有して成る香粧品は、鎮静効果に優れ、その効果の持続性も優れていることは明らかである。

【図面の簡単な説明】

【図1】前記製造例によって得られた本発明の鎮静用精油をエチルアルコールにて10%に希釈したサンプルのガスクロマトグラムである。縦軸は含有成分ピークの相対強度を示し、横軸はリテンションタイム（単位：分）を示す。

【図1】



【公報種別】 特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】 第3部門第3区分

【発行日】 平成11年(1999)4月6日

【公開番号】 特開平5-255688

【公開日】 平成5年(1993)10月5日

【年通号数】 公開特許公報5-2557

【出願番号】 特願平4-89811

【国際特許分類第6版】

C11B 9/00

A61K 7/00

7/46 301

C11B 9/02

【F I】

C11B 9/00 A

A61K 7/00 K

W

7/46 301

C11B 9/02

【手続補正書】

【提出日】 平成9年9月22日

【手続補正1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0007

【補正方法】 変更

【補正内容】

【0007】 記

下記のガスクロマトグラフィーのクロマトグラムにおいて、リテンションタイムが0分から50分以内であるこ

と。

機種：ヒューレットパッカード社 5890A

カラム：ジェーアンドダブル社 DB-WAX (内径  
0.25mm×長さ60m)

キャリアガス：ヘリウム

キャリアガス流量：1ml/分

カラム温度：摂氏70度～200度

カラム昇温速度：摂氏2度/分

検出器：水素イオン化検出器(F. I. D)